

平成 31 年度（令和元年度）国際交流センター事業報告書

国際交流センター長 国重 徹

・主に取り組んだ事業（特記事項）

「スポーツ・異文化理解・語学の 3 本柱を有機的に結びつけた活動を行うことにより、本学のグローバル化を推進する」というセンターのビジョンに基づき、主に以下の事業を遂行した。

1. 初のチューターによる集中英語特訓 + UFC ジムにおけるインターンシップを組み合わせた海外短期研修プログラム（ハワイ）を実施した。
2. 武道を通じた国際交流活動を推進するため、第 1 回国際柔道セミナーを開催した。
3. 留学生と日本人学生の交流を推進するため、スポーツを通じた交流会を 2 回開催した。

・事業報告

1. 国際交流・グローバル化プロジェクト

初のチューター（ハワイ州立大学マノア校第 2 言語習得コース博士課程の学生）による集中英語特訓 + UFC ジム（カイルア）におけるインターンシップを組み合わせた海外短期研修プログラム（ハワイ）を実施した。

国際交流協定校の国立体育大学（台湾）から学生・教員計 6 名を受け入れ、本学の教育研究施設を利用した短期研修を実施した。

オーストラリア（シドニー）、米国（ハワイ）短期研修プログラムの単位化のために必要なことを検討した。

留学生と日本人学生とのスポーツ・武道を通じた交流イベントを 2 回企画・実施した（前期 1 回、後期 1 回）。

スポーツ・武道を通じた海外アスリートとの国際交流プログラムとして、第 1 回国際柔道セミナーを立案・実施した。

国際スポーツ・アカデミー事業を支援した（Skype による面接試験、選考、MC）

2. 教育プロジェクト

2021 年度の開始を目指し、現カリキュラムを改善した新カリキュラムを策定した。教育課程改訂に係る特別委員会に提案し、了承された。

新入生に対する英語プレースメントテストを実施した（2019 年 4 月）

2 年次生に対する英語アチーブメントテストを実施した（2019 年 12 月）

TOEICIP テストを全 5 回実施し、財団に受験料補助（高得点を取得した学生への受験料補助金）を申請した。

学生、教職員、市民を対象に全 12 回「いんぐりっしゅ☆ る～む」を実施した。

LL1, 2 教室を Communication Room 1, 2 と名称変更し、新しい部屋のネームプレートを設置した。

また、学生にとってより快適な学習空間を提供するため、Communication Room 1 については、部屋の壁と廊下の壁を Communication Room 1 のセンターカラー（わさびグリーンと白）に変えた。また破損の激しかった Communication Room 1 の床のカーペットを新しくした。

・決算報告

1. 国際交流・グローバル化事業関係

| 区分 | 金額 | 備考(使用内容) |
|-----|--------|--|
| 人件費 | 千円 | |
| 物件費 | 110 千円 | 海外短期研修必要物品(インターンシップで使うポケットティッシュ) 留学生と日本人学生の交流を進めるための物品(留学生用のポスター掲示用フレーム、レール) 第1回国際柔道セミナーを実施する際に必要となったセンターの公印 |
| その他 | 千円 | |
| 計 | 110 千円 | |

2. 教育事業関係

| 区分 | 金額 | 備考(使用内容) |
|-----|----------|--------------------------------------|
| 人件費 | 千円 | |
| 物件費 | 1,971 千円 | 教育環境整備(PC 購入、周辺機器購入、壁塗り、カーペット取り替え) |
| その他 | 516 千円 | 英語プレイスメントテスト、アチーブメントテスト |
| 計 | 2,487 千円 | |

3. その他

| 区分 | 金額 | 備考(使用内容) |
|-----|----|----------|
| 人件費 | 千円 | |
| 物件費 | 千円 | |
| その他 | 千円 | |
| 計 | 千円 | |

・その他

1. 発刊物

予算を削減するため、紙ベースでの発刊物は廃止し、国際交流センターの Facebook を立ち上げることで、事業の報告や案内をその都度行った。

2. 開催会議状況

必要に応じて、会議形式、メール形式でのセンター会議を実施した。

3. 広報活動

国際交流センターの Facebook 及び、第1回国際柔道セミナーの Facebook を立ち上げ、センター事業の広報に努めるとともに、帰国した留学生とのネットワークも充実させた。

4. センター利用促進策の成果

LL1, 2 教室を Communication Room 1, 2 と名称変更し、新しい部屋のネームプレートを設置した。また、Communication Room 1 については、部屋の壁と廊下の壁を Communication Room 1 のセンターカラー(わさびグリーンと白) に変えた。また破損の激しかった Communication Room 1 の床のカーペットを新しくした。これらにより、学生だけでなく、語学教育以外の先生方にもこれまで以上に快適に Communication Room 1 を使っていただくための準備ができた。

5. その他

本学の様々な部署で翻訳の業務が行われた際の、英文の校正や添削を行うことで、大学運営に協力した。